

資料4

水防災意識社会再構築協議会(南薩地域) 取組方針進捗管理表(平成31年4月時点)

実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施●・実施予定○						項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(H29.6.20) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度予定		
				H29.3以前	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度以降								
◆ハード対策の主な取組内容	洪水を安全に流すためのハード対策	・流下能力対策(河道掘削・護岸整備等)	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	●○	●○	●○	S	・河川の整備状況を踏まえて優先区間を定めて順次実施。	万之瀬川、大浦川、油川(南さつま市) 中洲川(枕崎市)	万之瀬川(築堤・護岸) 大浦川(築堤・護岸) 油川(護岸) 中洲川(護岸) 中洲川(護岸)	万之瀬川(築堤・護岸) 大浦川(築堤・護岸) 油川(設計) 大谷川(護岸)	万之瀬川(築堤・護岸) 大浦川(築堤・護岸) 油川(護岸) 中洲川(護岸)	「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」
	・流木対策(砂防堰堤の整備)	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	●○	●○	●○	G	・要配慮者利用施設及び学校が保全対象となっている箇所を優先的に実施。	三本松川、堀切谷川(2)、芋洗川(2)、秋目川、久志川(南さつま市) 折尾の小川、君野川(南九州市) 逆瀬川支流(指宿市)	三本松川(詳細設計)、堀切谷川(2)(堰堤設計)、芋洗川(2)(溪流保全工)、秋目川(堰堤工)、久志川(堰堤工) 折尾の小川(堰堤工)、君野川(前堤保護工) 逆瀬川支流(予備設計)	三本松川(詳細設計)、堀切谷川(2)(詳細設計)、芋洗川(2)(溪流保全工)、秋目川(堰堤工)、久志川(堰堤工) 折尾の小川(堰堤工)、君野川(溪流保全工) 逆瀬川支流(予備設計)	三本松川(堰堤工)、堀切谷川(2)(堰堤工)、芋洗川(2)(溪流保全工)、秋目川(堰堤工)、久志川(堰堤工) 折尾の小川(堰堤工)、逆瀬川支流(予備設計)、田代第2谷(詳細設計)	計7箇所	
避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備	・河川情報を提供する危機管理型水位計等の検討・設置・運用	引き続き実施(H29～)	鹿児島県		●	●	○	○	○	○	B E F L	<危機管理型水位計> ・協議会の場等を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。協議会の場等を活用して、配置状況を確認。	危機管理型水位計 24箇所設置予定	設置箇所検討 「中小河川緊急治水対策プロジェクト」開始	南さつま市 11箇所 南九州市 9箇所 枕崎市 3箇所 指宿市 1箇所 全24箇所設置済み 3/15 県内全域運用開始		引き続き運用 監視カメラ2箇所設置
施設の確実な機能確保	・河川管理施設の長寿命化対策の推進	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	○	○	○	U	・平成27年度に河川管理施設の長寿命化計画書を作成点検、整備等の予防保全による施設の長寿命化を図ることにより、事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、トータルコストの縮減に努める。 ライフサイクルコストは、平成28年度を1年目とし、40年間とした。	樋門等河川管理施設の補修	本体補修 宮崎樋門、佐々良樋門	機械設備補修 加世田第一樋門 再塗装 加世田第一樋門	川辺ダム(長寿命化)	
	・寄洲除去、堤防伐採等の推進	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	○	○	○	T	・平成31年度から寄洲除去計画を策定作業中 計画的に実施し、災害のおそれのある箇所から効果的に取り組む	河川断面が著しく阻害されるなど、治水上緊急性が高い寄洲を除去することにより、河川氾濫を未然に防止する。	万之瀬川等 14河川17箇所の寄洲除去	大谷川等 11河川15箇所の寄洲除去	加世田川等 10河川14箇所の寄洲除去	
	・庁舎等浸水時の機能確保対策の検討	引き続き実施(H29～)	鹿児島県		●	●	○	○	○	○	Q	防災拠点施設として機能強化を図るため、3階第2・3会議室に災害対策本部南薩支部室として整備。 水害時の公用車移動場所、移動方法を含め検討中。	非常用発電機72時間持続へ交換。3階第2・3会議室非常用コンセント設置、電話工事の実施、通信機材の指定。 水害時の公用車移動場所の指定の検討。	3階第2・3会議室に災害対策本部南薩支部室として整備。	・災害対策本部南薩支部設置時(3階第2・3会議室)通信機材の指定。 ・電話工事の実施。 ・水害時の公用車移動場所の指定の検討。	・水害時の公用車移動場所の指定の検討。	
			枕崎市				○	○	○			現時点で浸水時の機能確保対策の検討はできておらず、今後の課題となっている。庁舎周辺に河川等はなく浸水しにくい場所に立地しているが、対策はしていないといけないと考えている。	今後検討	特になし	特になし	特になし	

水防災意識社会再構築協議会(南薩地域) 取組方針進捗管理表(平成31年4月時点)

施策番号	実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施●・実施予定○						項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(H29.6.20) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度予定			
					H29.3以前	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度以降									
円滑かつ迅速な避難のための取組	水害リスク等を踏まえたホットライン(出水時における河川管理者からの情報提供等)の構築(万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川)	引き続き実施(H29~) H29年度から実施 引き続き実施(H29~) H29年度から実施 引き続き実施(H29~) H29年度から実施 引き続き実施(H29~) H29年度から実施		南さつ各市	●	●	○	○	○	D	・協議会の場等を活用し、平成30年出水期までに、洪水予報河川及び水位周知河川の沿川市町村等と河川管理者において、ホットラインを構築。 ・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認。	平成29年出水期までに、ホットラインを構築。毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	ホットライン構築	出水期前(5月)に連絡体制を確認	出水期前(5月)に連絡体制を確認				
				南九州市	●	●	○	○	○					出水期前(5月)に連絡体制を確認	出水期前(5月)に連絡体制を確認				
				枕崎市	●	●	○	○	○					出水期前(5月)に連絡体制を確認	出水期前(5月)に連絡体制を確認				
				鹿児島県	●	●	○	○	○					出水期前(5月)に連絡体制を確認	出水期前(5月)に連絡体制を確認				
新たにホットラインを構築する河川の検討	今後検討 検討中	指宿市	●	○	○	○	○	○	D	検討中(河川課検討待ち)	二反田川を周知河川としてからホットラインの構築となる。 周知河川が認定となった箇所を、随時ホットラインに構築する。		新規改修事業である二反田川を抽出	新規改修事業である二反田川を検討					
													鹿児島県	●	○	○	○	○	新規改修事業である二反田川を抽出
防災情報の確実な伝達	避難情報等を確実に届けるため、戸別端末による防災行政無線や自治会無線の普及	引き続き実施		南さつ各市	●	●	●	○	○	A	防災無線による情報の配信のほか、自治会無線放送施設整備補助金による自治会無線の普及推進 防災無線工事完了 自治会放送へ接続済み 平成32年3月までに自治会長や離島地域等に戸別受信機を設置予定。その後は自治会等に対し、購入補助制度を設け普及を促進する計画。 離島地域へは個別受信機を配布し、その他の地域では防災ラジオの普及を推進している	防災無線による情報配信 1,438台新規設置 計8,955台(55%) (更新による増減あり) 川辺地域 屋外拡声子局 43局設置 新規設置なし。既存設置200台 584台設置	H29完了	H29完了					
				南九州市	●	●	●	○	○						484台新規設置 計9,400台(58%) (更新による増減あり)	308台新規設置予定 (更新による増減あり)			
				枕崎市	●	●	●	○	○						新規設置なし。既存設置200台	既存設置200台 2020年3月以降405台新規設置(更新)			
				指宿市	●	●	●	○	○						209台設置	引き続き防災ラジオの普及を推進予定			
	緊急速報メールによる配信	引き続き実施			南さつ各市	●	●	●	○	○	A	NTTコム、KDDI、ソフトバンクの携帯電話ユーザーへ緊急性の高い情報を対応端末に配信 避難準備・高齢者等避難開始等が発令後 現在も必要に応じて配信は行っている。引き続き今後も必要に応じて配信を行っている。 必要に応じて緊急性の高い情報を対応端末に配信	土砂災害警戒情報 避難準備情報 8月5日台風5号、9月16日台風18号	土砂災害警戒情報 避難準備情報 8月21日台風19号、9月29日台風24号、30日土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報 避難準備情報 8月21日台風19号、9月29日台風24号、30日土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報 避難準備情報 8月21日台風19号、9月29日台風24号、30日土砂災害警戒情報			
					南九州市	●	●	●	○	○							1回(避難準備・高齢者等避難開始、避難所開設)	3回(避難準備・高齢者等避難開始、避難所開設、土砂災害警戒情報)	各種気象警報、避難情報、災害情報など必要に応じて適宜発令予定
					枕崎市	●	●	●	○	○							台風24号接近時のメール配信	引き続き必要に応じて緊急性の高い情報を対応端末に配信	
					指宿市	●	●	●	○	○							土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難所開設等	土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難所開設等	
	防災行政無線を文字化しメールによる配信	引き続き実施		南さつ各市	●	●	●	○	○	A	防災無線放送内容を文字化し受信登録の対象者へ配信	土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難所開設等	土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難所開設等	土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難所開設等					
	・アラート(災害情報共有システム)による各報道機関を介して住民への発信 ・鹿児島県防災Web、SNS、鹿児島県河川砂防情報システムによる周知	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	○	A		・アラート(災害情報共有システム)による各報道機関を介して住民への発信 ・鹿児島県防災Webによる周知	引き続き実施	引き続き実施					
適切なタイミングでの情報発信	水位周知河川等において、確実な避難を促すための、避難勧告の発令に着目した水害対応タイムラインの作成・検証・見直し(万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川)	引き続き実施(H30~) H30年度から実施 引き続き実施(H30~) H30年度から実施 引き続き実施(H30~) H30年度から実施 引き続き実施(H30~) H30年度から実施 引き続き実施(H30~) H30年度から実施		南さつ各市	●	●	○	○	○	D	・平成29年度中に、協議会の場等を活用して、洪水予報河川及び水位周知河川の沿川等で対象となる市町村を検討・調整し、平成30年度までに水害対応タイムラインを作成。 ・平成31年度より、出水期前に協議会において、市町村等関係機関と水害対応タイムラインを検証。 ・水害対応タイムラインを活用して、河川管理者は洪水対応を実施し、また4市は関係機関と連携して避難訓練等を実施して、明らかにになった課題等を踏まえ、避難勧告の発令基準や水害対応タイムライン等を見直し。	H29タイムライン作成 H30以降、毎年確認し、必要に応じて見直し	タイムラインの作成	順次検証見直しを行う	検証・見直し				
				南九州市	●	●	○	○	○					タイムラインの作成	必要に応じて見直し	必要に応じて見直し			
				枕崎市	●	●	○	○	○					タイムラインの作成	修正・見直しを行った。	検証・見直し			
				鹿児島県	●	●	○	○	○					タイムラインの作成	タイムラインの見直し	検証・見直し			
				気象台	●	●	○	○	○					タイムラインの作成	タイムラインの見直し	検証・見直し			
視覚的にわかりやすい情報発信	既存の水位計や河川監視カメラによるきめ細やかな河川情報の提供(水位計危機管理型)やカメラの増設	引き続き実施 (引き続き実施(H29~))		鹿児島県	●	●	●	○	○	BEFL	管内新たに24箇所の水位計を設置して情報提供の充実を図る	水位計の設置位置の検討	追加水位計24箇所にて情報提供開始	引き続き水位計32箇所にて情報提供カメラ2箇所(大浦川、大谷川)にて情報提供を予定					
浸水区域等のリスク情報の周知	地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を对象とした洪水想定区域の検討・公表(万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川)	実施済(H29)		鹿児島県	●	●	-	-	-	IHLQ	・平成30年出水期までに、協議会の場等を活用して、今後5年間で実施する想定最大規模の降雨による浸水想定区域図等の作成・公表の予定を検討し、「地域の取組方針」にとりまとめ、順次作成・公表。	万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川	万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川	万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川にて公表	万之瀬川、加世田川、花渡川、中洲川にて公表				
				南さつ各市	○	○	○	○	○							今後見直しを検討(H28防災マップ作成配布済)	今後見直しを検討	浸水範囲内にある避難所等について今後見直しを検討	浸水想定区域図に基づくハザードマップについて今後見直しを検討 H32 更新予定
	地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を对象とした洪水ハザードマップの作成・周知	平成32年度から実施 平成31年度から実施 引き続き実施 H28年度から実施			南さつ各市	○	○	○	○	○	IQ	・想定最大規模の洪水による浸水想定区域図が作成された場合は、市町村において速やかに当該浸水想定に基づく水害ハザードマップを作成・周知。 ・市町村において、水害ハザードマップの訓練等への活用について検討した上で実施	平成31年度において防災マップを作成予定	市内全戸数にハザードマップ配布	作成に向けた準備・検討	更新作成後、全世帯及び転入者に対し配布・周知予定			
					枕崎市	○	○	○	○	○					協議会の場等において保有する浸水実績等に関する情報を共有する	協議会の場等において保有する浸水実績等に関する情報を共有	引き続き実施	引き続き実施	
					鹿児島県	●	●	●	○	○					住民等に周知	住民等に周知	引き続き実施	引き続き実施	
					南さつ各市	●	●	●	○	○					・平成29年度中に協議会の場等において各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において速やかに住民等に周知。	住民等に周知	住民等に周知	引き続き実施	引き続き実施
	河川浸水実績図等の提供・周知	引き続き実施(H29~) 引き続き実施(H29~) 引き続き実施(H29~) 引き続き実施(H29~)			鹿児島県	●	●	●	○	○	I			住民等に周知	住民等に周知	住民等に周知			
					南九州市	●	●	●	○	○					住民等に周知	住民等に周知			
					枕崎市	●	●	●	○	○					住民等に周知	住民等に周知			
					指宿市	●	●	●	○	○					住民等に周知	住民等に周知			
新たな水位周知河川の指定	今後検討 検討中			鹿児島県	○	○	○	○	○	ABI	・協議会の場等を活用し、平成30年出水期までに、今後5年間で指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施して、「地域の取組方針」にとりまとめ、平成33年度を目途に、市町村の役場等に係る河川の内、現在未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)	平成33年度を目途に、市町村の役場等に係る河川の内、現在未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)	水位周知河川の指定に向けた検討を開始	水位周知河川の指定候補河川の選定等	水位周知河川の指定を検討(二反田川)				
				南さつ各市	○	○	○	○	○					・平成33年度までに対象の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練を実施を目指す。 ・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認。	今後検討	浸水範囲内にある避難所等について今後見直しを検討	引き続き見直しを検討		
				枕崎市	○	○	○	○	○					・平成33年度までに対象の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練を実施を目指す。 ・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認。	検討中	検討中	引き続き検証し、見直しを検討		
				南九州市	○	○	○	○	○					・平成33年度を目途に、市町村の役場等に係る河川の内、現在未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)	浸水想定区域の確認	対象となる施設を地域防災計画に定める	対象となる施設を住民に周知		
				指宿市	○	○	○	○	○					・平成33年度を目途に、市町村の役場等に係る河川の内、現在未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)	検討中	検討中	関係課と避難確保計画作成に向けた協議を行う		
河川巡視点検結果の情報共有	引き続き実施			南さつ各市	●	●	●	○	○	M	・早急に地域住民の避難態勢及び水防活動ができるよう、河川の弱点部分の情報共有を行う。	県では、年1回出水期前に点検を行っているが、避難及び水防活動など必要な箇所を市へ報告する。 ・各市は地域住民からの豪雨・台風等後の被災箇所を県に報告する。 ・県単予算要望への協力 ・寄附除去計画への協力	県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 報告箇所なし	県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 報告箇所なし	県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 県単予算要望及び寄附除去計画の箇所を提出 報告箇所なし				

◆ソフト対策の主な取組内容①

水防災意識社会再構築協議会(南薩地域) 取組方針進捗管理表(平成31年4月時点)

実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施●・実施予定○						項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(H29.6.20) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度予定
				H29.3以前	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度以降						
◆ソフト対策の主な取組内容②	住民目線での啓発活動の実施	引き続き実施	南さつ各市	●	●	●	○	○	○	DK	・協議会の場等を活用して、具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	引き続き住民参加型の総合防災訓練を開催し啓発活動を実施する	9月住民参加型の市総合防災訓練を実施	9月住民参加型の市総合防災訓練を実施	出水期前に市報による周知を図る 9月住民参加型の市総合防災訓練を実施予定
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			引き続き総合防災訓練や広報紙等を通じて啓発活動を実施する。	市総合防災訓練や広報紙等を通じて意識の高揚を図った。	市総合防災訓練や広報紙等を通じて意識の高揚を図った。	市広報紙6月号による防災特集での掲載や9月に総合防災訓練を予定
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			地区防災計画の作成依頼	危険箇所の確認	地区防災計画(案)、マニュアル等の作成	地区防災計画の作成依頼
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			総合防災訓練や広報紙等を通じた啓発活動の実施	地区自主防災会の訓練・講話時に説明	地区自主防災会の訓練・講話時に説明	地区自主防災会の訓練・講話時に説明
	教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	今後検討 検討中	南さつ各市			●	○	○	○	ADK	・平成30年度末までに、国の支援により作成した指導計画を、協議会の関連市町村における全ての学校に共有。 (防災に関する内容が強化された新学習指導要領に基づく授業がH32年度から開始されることも念頭に実施)	教育機関等と連携した水防災学習・教育を実施する	教育機関等と連携した水防災学習・教育について今後検討	H30.12.3市内小中学校へ防災教育に関する指導計画等の周知について通知済。 H30.12.7市内小中学校教頭研修の際に防災教育に関する説明を実施。 H31.2.5市内小中学校校長研修の際に防災教育に関する説明を実施予定。	市内各小中学校において、毎年、年3回程度実施している、避難訓練等の際に防災学習・教育を実施予定
		今後検討 検討中	枕崎市			●	○	○	○			教育機関等と連携した防災教育について検討していく。	特になし	各学校へ情報共有された日 平成30年12月3日と平成31年1月4日	教育機関等と連携した水防災学習・教育について情報共有を行う。
		今後検討 検討中	南九州市			●	○	○	○				今後検討	育機関等と連携した水防災学習・教育について今後検討	育機関等と連携した水防災学習・教育について検討
		今後検討 検討中	指宿市			●	○	○	○			教育機関等と連携した防災教育について検討していく。	特になし	特になし	育機関等と連携した水防災学習・教育について今後検討
		今後検討 引き続き実施	気象台			●	○	○	○			関係機関の取組に対して、気象資料の提供等により支援を実施する。	防災ワークショップの実施	防災ワークショップの実施	引き続き実施
		今後検討 検討中	鹿児島県			●	○	○	○					指導計画を、協議会の関連市町村における全ての学校に共有	各学校の必要に応じ、県が保有する河川関係の情報提供や出前講座の検討を予定
	地域住民が安全に避難できるよう、地区防災計画の推進・支援	引き続き実施	南さつ各市	●	●	●	○	○	○	K	自主防災組織等を中心とした地区防災計画について更なる推進を図る	引き続き地区防災計画の推進・支援を図る	引き続き地区防災計画の推進・支援を図る	引き続き地区防災計画の推進・支援を図る	引き続き地区防災計画の推進・支援を図る
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			防災訓練、自主防災組織等を通じ、計画策定の推進を行っていく。	特になし	平成31年度より計画策定の推進を行っていきたく。	引き続き地区防災計画の推進・支援を図る
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			地区防災計画の作成依頼	危険箇所の確認	地区防災計画(案)、マニュアル等の作成	地区防災計画の作成依頼
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			自主防災組織等を中心とした地区防災計画の策定の推進を図る	山川利永地区で計画策定	自主防災組織等を通じ計画策定の推進を図る	自主防災組織等を通じ計画策定の推進を図る
	水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施	今後検討 検討中	南さつ各市			●	○	○	○	K	啓発活動の実施に向けて今後検討	引き続き検討	引き続き検討	引き続き検討	引き続き検討
		今後検討 検討中	枕崎市			●	○	○	○			今後検討	特になし	今後検討	今後検討
		今後検討 検討中	南九州市			●	○	○	○			今後検討	特になし	今後検討	引き続き検討
		今後検討 検討中	指宿市			●	○	○	○			今後検討	特になし	特になし	今後検討
		今後検討 引き続き実施	気象台			●	○	○	○			関係機関の取組に対して、気象資料の提供等により支援を実施する。		大雨・洪水警報の危険度分布のポスター配布・掲示	引き続き実施
		今後検討 検討中	鹿児島県			●	○	○	○			今後検討	特になし	今後検討	今後検討
自主防災組織等への支援	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施	南さつ各市	●	●	●	○	○	○	J	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	自主防災組織(代表者)を対象に防災研修会等の実施	防災研修会の実施(防災講話等)	防災研修会の実施(防災講話等)	防災研修会の実施(防災講話等)
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			自主防災組織の自主訓練等の推進を図り協力を行う。	引き続き支援を行った。	引き続き支援を行っていく。	引き続き実施
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			出水時期前に自主防災リーダー研修会の実施	6月17日(土)リーダー研修会実施	6月10日(日)リーダー研修会実施	リーダー研修会実施
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。
	災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	引き続き実施	南さつ各市	●	●	●	○	○	○	J	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	地域防災リーダーの育成、自主防災組織の育成・強化・支援を図る 自主防災組織資機材購入補助の実施	自主防災組織研修会の実施により組織の育成・強化・支援を図る 自主防災組織資機材購入補助の実施	自主防災組織研修会の実施により組織の育成・強化・支援を図る 自主防災組織資機材購入補助の実施	自主防災組織研修会の実施により組織の育成・強化・支援を図る 自主防災組織資機材購入補助の実施
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			自主防災組織が自ら訓練等を行えるよう人材の育成や訓練の実施等を支援していく。	防災訓練等を通じて育成・強化・支援を行った。	防災訓練等を通じて育成・強化・支援を行っていく。	自主訓練等における出前講座の活用支援や活動補助金による助成などを行っていく。
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			出水時期前に自主防災リーダー研修会の実施	6月17日(土)リーダー研修会実施	6月10日(日)リーダー研修会実施	リーダー研修会実施
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。	県の自主防災リーダー研修会等への積極的参加の呼びかけを行う。

水防災意識社会再構築協議会(南薩地域) 取組方針進捗管理表(平成31年4月時点)

実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施●・実施予定○						項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(H29.6.20) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度予定
				H29.3以前	H29年度末	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度以降						
関係機関及び地域住民と実施する訓練等	防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	COP	・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施 ・協議会の場等を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	9月市総合防災訓練の実施	9月市総合防災訓練の実施	9月市総合防災訓練の実施予定
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			市防災訓練等への自治会長・警察等の参加	台風接近により市防災訓練を中止	市防災訓練の際、関係機関(警察、消防、建設業組合等)も参加し実施した。	9月市総合防災訓練の実施
		引き続き実施(H29～)	南九州市	●	●	●	○	○	○			河川氾濫を想定した訓練を実施	9月3日 総合防災訓練を実施	避難訓練及び情報伝達訓練の実施	総合防災訓練の実施
		引き続き実施(H29～)	指宿市	●	●	●	○	○	○			関係機関・市民参加による防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施
		引き続き実施(H29～)	鹿児島県	●	●	●	○	○	○			鹿児島県総合防災訓練の実施 水防担当者会議の開催 大規模災害時の協力関係団体との調整 ダム管理洪水対応演習	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
	水防技術伝承のための消防団(水防団)員の防災訓練等の実施	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	NO	・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容の検討、調整をして実施	毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	9月市総合防災訓練において消防団員等による水防訓練の実施	9月市総合防災訓練において消防団員等による水防訓練の実施	9月市総合防災訓練において消防団員等による水防訓練の実施予定
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			市総合防災訓練等を通じて実施。	台風接近により市防災訓練を中止	9月に市総合防災訓練を行ったが、今回は水防訓練は実施しなかった。	9月市総合防災訓練の実施
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			水防工法(積土のう、木流し工法、シート張り工法)を実施	9月3日 総合防災訓練を実施	各分団にて水防工法訓練の実施	総合防災訓練の実施
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			市総合防災訓練等を通じて実施。	総合防災訓練を実施	5月に県総合防災訓練を行ったが、水防訓練の実施無し	総合防災訓練を実施
	災害時に迅速な避難誘導ができるよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	今後検討 引き続き実施	南さつま市							JO	・平成33年度までに対象の要配慮者利用施設(浸水)における避難確保計画の作成・避難訓練を実施を目指す。 ・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認。	毎年9月、関係機関、自主防災組織、住民等参加による市総合防災訓練を実施	9月市総合防災訓練において避難訓練の実施	9月市総合防災訓練において避難訓練の実施	9月市総合防災訓練において避難訓練の実施予定
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			要配慮者利用施設との浸水・土砂災害等を想定した避難訓練。	市内3要配慮者利用施設と避難訓練を実施。	6月に市内3要配慮者利用施設と、9月に市総合防災訓練で地域住民の避難訓練を実施	6月に市内3要配慮者利用施設と関係機関との情報伝達・避難訓練を実施予定
		今後検討	南九州市									避難訓練の実施	9月3日 総合防災訓練を実施	今後検討	総合防災訓練の実施
		今後検討	指宿市									要配慮者利用施設における避難確保計画の作成	今後検討	今後検討	関係課と避難確保計画作成に向けた協議を行う
	浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	今後検討	南さつま市							KQ		対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討
		今後検討	枕崎市									避難計画の策定や避難訓練の実施について	今後検討	今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討
		今後検討	南九州市									対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を今後検討	対象団体等に対して、自主防災力向上のための支援を検討
今後検討		指宿市							避難計画の策定や避難訓練の実施について			今後検討	今後検討	総合防災訓練への浸水想定区域内の住民等の参加を図る	
要配慮者利用施設における避難計画の作成・避難訓練の実施	今後検討	南さつま市							DHO		避難計画の作成・避難訓練の実施に向けての支援を図る	支援について今後検討	支援について今後検討	支援について今後検討	
	今後検討	枕崎市									避難計画の策定や避難訓練の実施についての支援を今後検討	6月に市内3要配慮者利用施設と避難訓練を実施。	6月に市内3要配慮者利用施設と避難訓練を実施。	避難計画については、今後の検討し、避難訓練については、6月に市内3要配慮者利用施設と情報伝達・避難訓練を実施	
	今後検討	南九州市									避難確保計画の作成及び避難訓練の実施	支援について今後検討	避難確保計画(案)アニュアル(案)の作成	避難確保計画の作成依頼	
	今後検討	指宿市									避難計画の作成・避難訓練の実施に向けての支援を図る	今後検討	今後検討	関係課と避難確保計画作成に向けた協議を行う	
適切な消防団(水防団)の人員の確保	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	N	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	関係機関と連携し引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
	引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			消防団(水防団)の確保	適切な消防団員(水防団員)の確保を行った。	適切な消防団員(水防団員)の確保	引き続き実施	
	引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			関係機関と連携し引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
	引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			関係機関と連携し引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
	地元建設業等と連携した水防活動の実施	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	N	・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容の検討、調整をして実施 ・協議会の場等を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	9月市総合防災訓練において消防団、建設業協会と連携した水防訓練の実施	9月市総合防災訓練において消防団、建設業協会と連携した水防訓練の実施	9月市総合防災訓練において消防団、建設業協会と連携した水防訓練の実施予定
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			市総合防災訓練等を通じて訓練の実施	今後検討	今後検討	今後検討
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	9月市総合防災訓練において消防団、建設業協会と連携した水防訓練の実施	9月市総合防災訓練において消防団、建設業協会と連携した水防訓練の実施	総合防災訓練の実施
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	毎年9月、関係機関、住民等参加による市総合防災訓練を実施	5月に県総合防災訓練を行ったが、水防訓練の実施無し	市総合防災訓練等を通じて訓練の実施
	適切な水防活動等を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	P	・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施	関係機関と連携し引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
		引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			関係機関と連携し引き続き点検確認と情報共有を行う。	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
		引き続き実施	南九州市	●	●	●	○	○	○			資機材確保のため情報伝達訓練の実施	各事業所の連絡先調査	情報伝達訓練の実施	情報伝達訓練の実施
		引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○			関係機関と連携し引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	○	○	毎年、10月を目処に水防資材の補充を実施。			引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
災害時における排水施設の適切な運用	引き続き実施	南さつま市	●	●	●	○	○	○	R	・出水期による市街地部等の内水対策	市内4箇所に設置されている既設の排水ポンプ施設により、早急かつ的確に対応する	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
	引き続き実施	枕崎市	●	●	●	○	○	○			災害発生が予想される際に、事前に花渡川流域の2地区に、内水排除のため、排水ポンプ等を配置	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	
	今後検討 引き続き実施	南九州市												排水ポンプの設置について検討	
	引き続き実施	指宿市	●	●	●	○	○	○						排水ポンプの設置について検討	

ソフト対策の主な取組内容③